

学校支援を積極的に進めよう

—生徒たちの幸福な成長を願って—

豊田市立保見中学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、四方を山に囲まれた静かな環境にあり、学区に保見団地を有する。保見団地は、昭和50年に造成され、地元豊田はもちろん名古屋のベッドタウンとして発展してきた。平成2年出入国管理法の改正があり、日系外国人の就労が容易になったことから、日系外国人の数が増えてきた。現在、全校生徒は273名であるが、そのうち約35%にあたる95名が外国人生徒であり、ブラジル人生徒は80名である。今年、70周年を迎えた伝統があり、通常学級は9学級（全学年3学級）、特別支援学級2学級の11学級である。

本校のP T Aは、役員8名と文化・広報・公安の3つの委員会34名で構成されている。会議の回数と内容を精選し、役員会・理事会を年5回で運営を図っている。

2 研究のねらい

本校P T Aは、「父母と教師が協力して、家庭と学校と社会とにおける生徒の幸福な成長をはかること」を目的としている。そのために、生徒たちの家庭生活や社会生活における水準の向上をめざし、生徒たちと直接かかわる大人が、「良き父母」「良き教師」になるよう努めることが重要である。そこで、生徒の望ましい社会的な生活環境の実現をはかるとともに、学校における教育環境の実現に努めるように、家庭と学校が連携することを研究のねらいとし実践している。

3 研究の仮説

学校行事への積極的な参加や学校環境整備の支援、会員や地域への広報活動、会員同士の豊かな交流を行うことによって学校教育を支援すれば、生徒たちの成長を促すことができるであろう。

4 研究の方法

(1) 組織と仕事分担

P T A役員を中心に、学校と連携しながら次のように組織づくりを行い、活動内容を分担した。

組 織	活 動 内 容
役員会	P T A活動の企画・運営、各部との相談、P T A委員会の準備、P T A予算の適切な執行、学校行事の支援、全校草取りの企画・運営
文化部 (学級委員を兼務)	P T A体験教室の企画・運営 (学級懇談会の企画・司会進行、学校行事の準備・支援)
広報部	保中だよりの作成
公安部	あいさつ運動の計画案作成と実施呼びかけ

(2) 活動内容の計画と見直し

P T Aの活動内容については、年度末に活動内容の見直しを図り、生徒たちの成長や学校生活の充実につながったかどうか検証を行う。その結果をもとに次年度の計画を立案し、効率的な運営と保護者や教師の負担感の軽減化につなげている。

5 研究の実践

(1) 全校草取りの取組

本校では、夏休みの終わりの日曜日に全校出校日を設定し、草取りを行っている。この草取りには、保護者も参加し、普段は細かな場所まで行き届かない外庭清掃を、親子で協力しながら行っている。活動後は、校内が見違えるほどきれいになり、本校の環境整備に大きな力となっている。しかし、外国人生徒の保護者の中には、日曜日にも仕事をもっている方が大勢おり、全校草取りに参加できない場合がある。そこで、授業参観、文化祭、合唱コンクールなどの行事が終わった後でも草取りに参加できるように、たよりやメールで繰り返し呼びかけを行った。その結果、約9割の保護者が草取りに参加することができた。



【夏休みの草取りに励む保護者】

(2) P T A体験教室の開催

P T A活動の理念には、保護者と教員が教養を高め、その成果を生徒の健全な発達に寄与することがあげられる。その理念を尊重し、毎年、様々な体験教室を行っている。本年度は、手作りとうふ工房を訪ねて木綿豆腐づくり体験を行い、26名の教員と保護者が参加した。安心・安全な食物について学んだり、こだわりをもって食品を作る大切さを知ったりすることを通して、食育の大切さを体感することができた。また、保護者同士の交流を深め、楽しいひとときを過ごすことができた。文化部では、体験の様子をまとめた掲示物をつくり、文化祭の展示発表を行った。



(3) 保中だよりの作成

本校では、年3回の「保中だより」を発行している。写真を多く掲載し、見やすい紙面作りを心がけている。これらのたよりはすべてカラー印刷を行い、P T Aや地域の方々に、生徒たちが生き生きと活躍する姿を知らせることができた。

(4) あいさつ運動の実施

本校では、あちこちで生徒たちの元気なあいさつが飛び交う。そのさわやかなあいさつを生み出す原動力となっているのが、P T Aのあいさつ運動である。すべての保護者をグループ分けし、生活スタッフの生徒たちとともに、年間18回のあいさつ運動を行っている。下校時には、にぎやかなあいさつが交わされ、生徒たちの笑顔がこぼれる。P T Aの公安部が各グループに実施日を分担し、前日にはメールで実施を呼びかけるようにしている。



6 成果と今後の課題

生徒たちの幸福な成長を願い、全面的な学校支援を行うことで、学校づくりに寄与してきた。生徒たちは、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事に真剣に取り組んでおり、その姿に多くの保護者が感動している。学習にも部活動にも熱心で、落ち着いた学校生活を送れる生徒が多くなってきた。今後は、外国人保護者も含め、より多くの支援が得られるように、事業の見直しを図っていきたい。